

ビジネスパーソンの仕事意識 vol.2

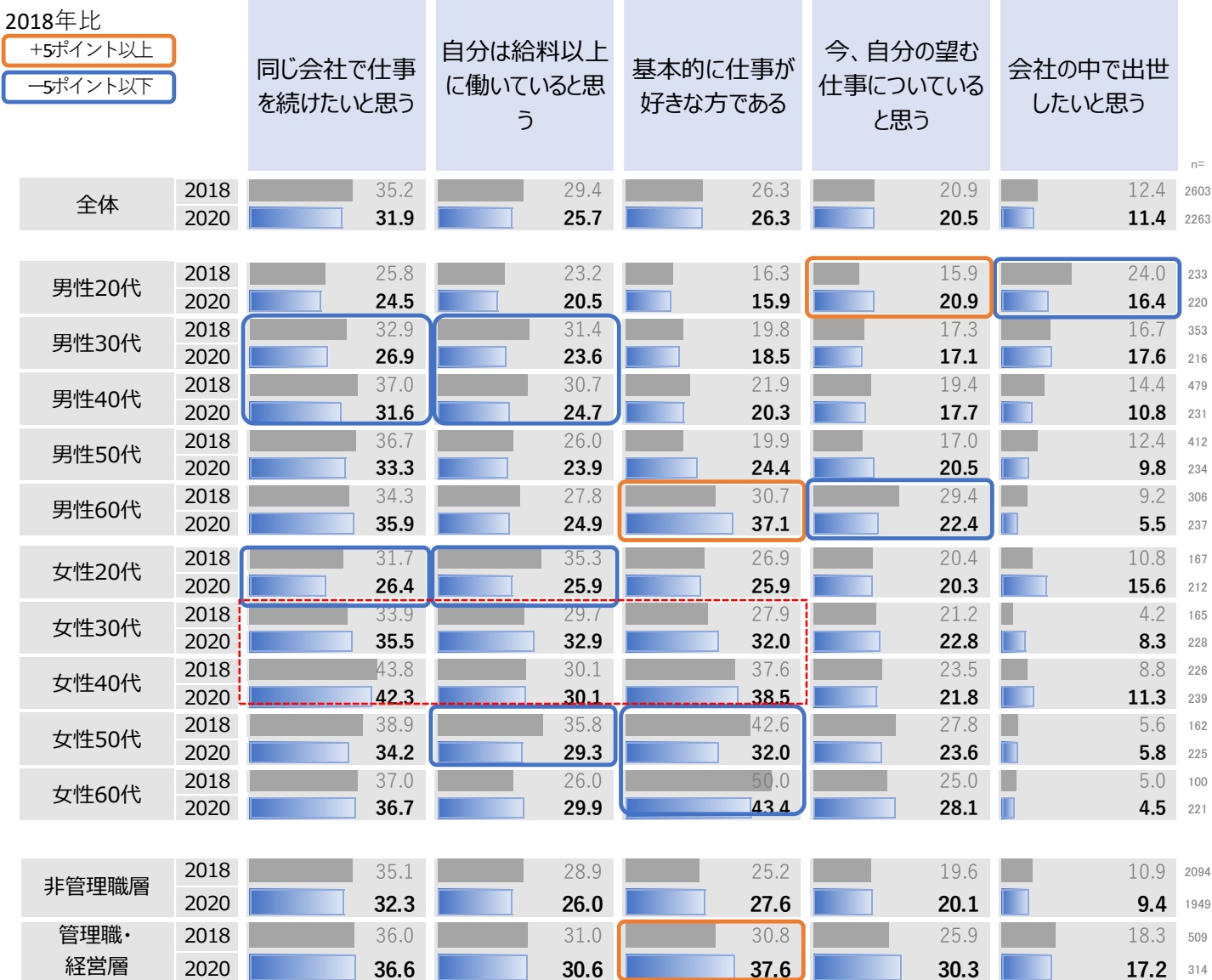
コロナ禍で会社や仕事にゆれるミドル男性、仕事に意欲的な若年女性

東名阪の主要都市圏在住のビジネスパーソン約2,000人を対象とした「ビジネスパーソン調査2020 ※11月実査」。今回は、コロナ禍でヒアリングしたビジネスパーソンの「仕事意識」について2018年との比較も交えてご紹介します。

2018年と2020年を比較すると、男性30-40代で「同じ会社で働き続けたい」「給料以上の働きをしている」が減少。家庭をもつなどライフステージ変化が大きいこの世代の、コロナ禍での会社や仕事への不安定な気持ちが現れています。男性50-60代は「基本的に仕事が好き」が高く、男性20代は「望む仕事についている」が増加し「会社の中で出世したい」は減少。「好きな仕事」を認識した男性50-60代と、「会社に縛られずに自分らしい働き方を追求したい」男性20代の様子がかげえまます。女性は30-40代を中心に「同じ会社で働き続けたい」「仕事が好き」の割合が男性に比べて高く、20代は「会社の中で出世したい」が増加し男性同世代とほぼ同値に。男性に比べて、より若い層に、働くことへの前向きな姿勢が見られます。

仕事・働き方についての価値観

Q「仕事」について以下にあげた項目のうち、あなたご自身にあてはまるものをすべてお選びください。



※非管理職層…役職なし/主任クラス/係長クラス、管理職・経営層…課長クラス以上と設定

「同じ会社で仕事を続けたいと思う」を年代別に見ると、男性は40-60代、女性は30-60代が高く、2018年と比較すると男性30-40代・女性20代で減少しました。「自分は給料以上に働いていると思う」では男性は全世代、特に30-40代の減少が目立ち、女性も20代・50代で減少。「基本的に仕事が好きな方である」は男性50-60代が高く、特に男性60代は顕著に増加。女性は男性に比べ全体的に値が高いものの、女性50-60代では2018年からの減少が目立ちました。また、「今、自分の望む仕事についている」は男性20代が増加し、2018年には突出して高かった男性60代が減少、男性の世代での差が小さくなりました。「会社の中で出世したいと思う」は2018年は唯一2割を超えていた男性20代が減少、その反面女性20代が増加した結果、20代では男女差がほぼなくなりました。